

時代を追わず、仕掛けて待つ

「企業の価値は挑戦と進化で決まる。受け継いでものを守るだけでは会社は大きく強くなれない。世の中の進化に置いていかれて地盤沈下していくだけだ」

「例えば、創業後30年間で生き残る企業がどれくらいあるか。ありとあらゆる会社の0.02%しかないといわれる。今から30年後、新社会人の多くは今の僕よ

りちよつと若いくらいだが、家庭を持ち、大黒柱として支えているだろう。ただし、創業から30年で99%以上の会社は無くなっている。米アップルですら、倒産するのではといわれた時期もあった。30年後どうなるのか、先を読む選球眼が大事だ」

『資金があるから事業をやりたい』ではなく『何をしたいか』で事業を決めることが大事。ソフトバンクはモバイルインターネットの分野で成長を目指す決意、創業時から「情報革命で人々を幸せにする」という理念を掲げてきた。

また「義と利のどちらを選ぶか。東日本大震災の時に考えさせられた。我々の電波があと10メートル、20メートルでも届いていたら、1人でも多くの命を救えたかもしれない。その反省から3兆円ほどのお金をかけて一気に通信網を整備した。お金がかかるのかは問題で

はなく、義を取る必要もある。

「志を共にする者を集めることも大事だ。アイデアを考えるくらいなら1人でできるが、革命的なことをなすには仲間を集めなければならぬ。良いときも悪いときも、本当に志を共有できる仲間こそ頼りになる」

他者を愛する。異なるものに、人類は真実の愛に目覚めていない。

人類は自分しか愛していない。愛は人間関係の力である。

現代の社会構造は人類は、たて型社会からよこ型社会に転換している。

同じ価値や画一的から個性の時代、人間の意識が社会の要請に付いて行っていない。

宗教や真理は一つに支配され、人類は誰も本当の愛を

さらに孫社長は常に「時代は追ってはならない。読んで仕掛けて待たねばならない」という。「新しい時代を作るんだ、世界中の人に興奮を与えるんだ」という情熱が必要と説く。先を読む冷静な目と熱い情熱が混在しているところが、孫流経営らしい。

―孫正義（日経電子版より）

孫氏は2000年、中国

仕事を通じ顧客と従業員、仲間を幸せにし社会に貢献する

知っていない。

愛は文化である。相手のためにする努力、自己犠牲である。

愛は問題を乗り越える文化

愛の復権

である。

現状分析と歴史的考察で見えてくる本質がある。

社会は三人（当事者双方と第三者）で成立する。

人間は社会的存在である。

社会性がなければ人間性がない。

人間性がなければ人間でない。

人間でないから人殺し、戦争が出来る。

宗教、民俗戦争をするのは人間でない、戦争は人でなしである。

愛とは結びつける人間関係、その総体が社会である。

他者と共に生き学ぶ。認め合い他者と共に生きる。歴史をつくるために人は生まれるのである。

生まれるのである。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2014年5月19日 (月) NO 348
地域から明るい未来を作ろう